



—東地中海地域ニュース—

イスラエル・トルコ：トルコとイスラエルとの間の無人機取引の遅延（15日付ハアレッツ紙）

15日付ハアレッツ紙は、トルコとイスラエルとの間の無人機購入契約履行の遅延に関し、以下のように報じている。

1. トルコ紙「Today's Zaman」は、イスラエルとトルコとの間の合計1億8千万ドル相当の無人機「Heron」の取引契約の完了は、ガザ支援船団事案を受け、治安上の理由から遅延していることを報じた。同紙によれば、先週、（イスラエル企業の）エルビット社とIAI社は、無人機を運用するトルコ軍の訓練に当たっていた要員を引き上げたようである。そのため、トルコ軍は情報収集の必要から、自国のBaykar社製無人機「IHA」の実戦投入を決定した。
2. イスラエルの軍事産業筋は、従業員の安全上の懸念から、イスラエル国防省と調整して同社の要員をトルコから引き上げた事実を認めた。それにもかかわらず、同筋は、無人機取引は依然有効で、2国間の緊張が沈静化するまでの間、トルコ軍に対する訓練だけが停止されたと述べた。イスラエル側では、同国内に残っている4機の無人機の確認のためにトルコ軍からの訪問団が到着するのを待っている状況にある。これまでのところ、イスラエルは6機（注：8機とする報道もあり）の無人機をトルコ側に引き渡した。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799